

深草エリア紹介

今回は深草エリアの事業所を紹介いたします。

今回は、京都老人福祉協会の深草エリアの5つの事業所をご紹介します。このエリアの一番の特徴は、主に稲荷、砂川、深草地域にお住まいの高齢者、障がいのある方、子育てをされている方等々の多様な福祉ニーズに応えることができるということです。また複合的な福祉ニーズ（例えば高齢者が、障がいをもっておられる子どもさんを介護されるケース等）に対して横断的にサービスを提供できるのもこのエリアの特徴と言えます。

高齢の方

まず高齢者に対しては、その方の身体的、精神的な状況に応じて連続性のある様々なサービスを提供しています。元氣な高齢者については、京都市の委託を受けた「京都市深草・醍醐地域介護予防推進センター」が、介護予防、認知症予防等を目的とした楽しい健康教室を無料で開催しています。次に高齢者全般の相談窓口として、稲荷・砂川学区については、「京都市深草・北部地域包括支援センター」が、深草学区については「京都市深草・中部地域包括支援センター」があります。対象地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、健康・福祉・医療その他生活に関する悩みごと等、「困った時の相談窓口」としてご活用下さい。さらに要支援、要介護認定を受けた高齢者の支援事業所として、「深草センターほっこり」と「稲荷の家ほっこり」があります。「深草センターほっこり」は、今年度より地域ケア会議に参加する等、地域の方々といっそその連携を図りながら在宅サービス事業全般を行っています。「稲荷の家ほっこり」は、高齢者がご

自宅での暮らしを継続しながら「通い」「泊まり」「訪問」を組み合わせて利用できる小規模多機能型居宅介護事業を行っています。

障がいのある方

障がいのある方の相談窓口としては、「京都市南部障害者地域生活支援センター「ふかくさ」」があります。京都市の委託を受け、伏見区本所と深草支所管内にお住まいの身体・知的・精神障がいのある方とご家族などからの相談を無料でお受けし、地域の関係機関との支援ネットワークの下、連携しながら対応しています。

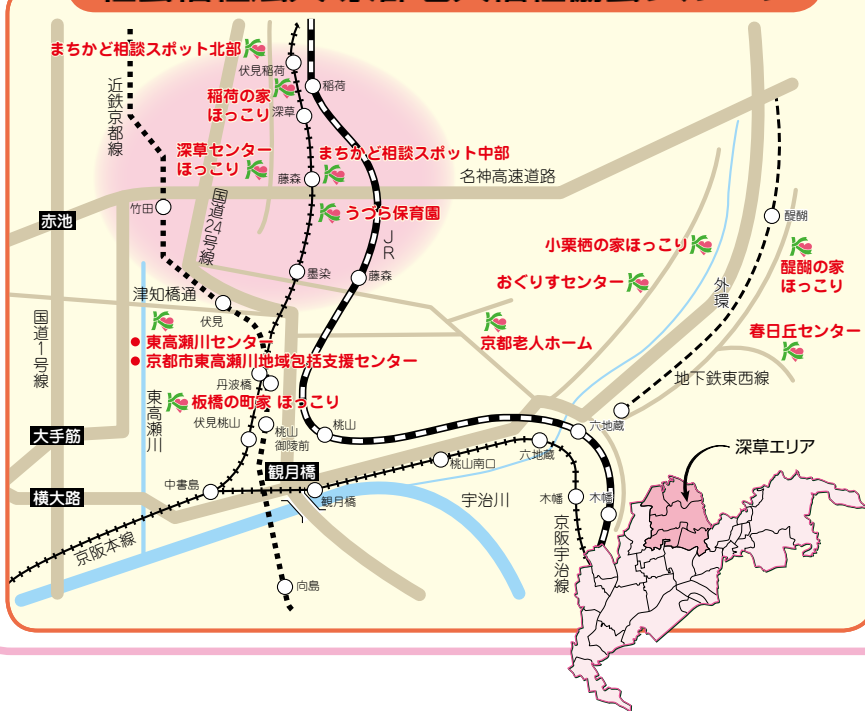
子育て中の方

子育てをされている方については、「うづら保育園」と「つどいの広場 稲荷の家ほっこり」が対応しています。「うづら保育園」は、近隣の小・中・高・大学との交流や園で出会った子ども、保護者とのつながりを大切にしながら保育事業を行っています。「つどいの広場 稲荷の家ほっこり」は、家庭的な雰囲気大切にしながら、2階スペースを開放して乳幼児とその親御さんを対象とした子育て支援活動を行っています。

若い人連携して

今ご紹介したように、深草エリアでは各事業所が、高齢、障がい、子育てという福祉分野において縦断的、時には横断的に適切なサービスを提供しています。どの様な状況になろうと住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたいという思いは変わりません。そうした思いに応えるため、現状にとどまらず日々事業所間の連携・情報共有を図り、地域の皆様との関係性を深め、稲荷・砂川・深草学区にお住まいの皆様のお手伝いをさせていただきます。次回は京都老人ホームを紹介します。

社会福祉法人 京都老人福祉協会グループ



深草エリアの事業所と事業内容

- 
深草センターほっこり
 ●通所介護 28名
 ●認知症対応型通所介護 10名
 ●居宅介護支援事業所
 ●訪問介護
- 
まちかど相談スポット北部
 ●京都市深草・北部地域包括支援センター
 ●京都市南部障害者地域生活支援センター「ふかくさ」
- 
まちかど相談スポット中部
 ●京都市深草・中部地域包括支援センター
 ●京都市深草醍醐地域介護予防推進センター
- 
うづら保育園
 ●定員 120名
 ●学童保育 13名(H22現在)
 ●一時保育を行っています
- 
稲荷の家ほっこり
 ●小規模多機能型居宅介護 登録25名、通い15名、泊り9名
 ●つどいの広場 (子ども支援事業)